

2021 年度学校だ。



# 大江の風

7月14日  
No.53



教育相談週間、大変お世話になっています。約40%の保護者と面談ができています。ありがとうございます。

## あ、あぶない！！

7月に入って2件接触事故がありました。2件とも低学年です。1件目は横断歩道上でした。けがはありませんでした。2件目は、飛び出して歩道上での自転車との接触でした。これもけがはありませんでした。本当に一報が入

草むらから走って飛び出したので、★のところで自転車とぶつかりました。石垣でまったく見えませんね。(渡鹿の交差点近く)



お地蔵さんの前です。ここから走って出たら危ないです。自転車もたくさん歩道をきます。

った時は、心臓がバクバクしました。大事に至らず、本当によかったです。神様が子どもたちを守ってくれたのかもしれない。横断歩道上でも、右・左・右を見て、注意しながら渡ること、そして見通しの悪いところでは、飛び出さないことを、再度学級で指導しました。「自分の命は自分で守る」ことは、自分で「どうにかする力」の1つです。梅雨も明けました。夏本番です。夏休みももうすぐ！ということで、うきうき気分になりますが、今一度、交通安全についての指導が必要だと思います。自転車乗りは、ヘルメット（あごベルトつき）をちゃんとしているでしょうか。交通量の多い大江校区ですので、お家でも十分注意してください。よろしくお願いします。



## 特別授業～心に響くいいお話～

4年生の総合的な学習の時間で「いろいろな立場の人の思い」を知るために、村上様にお話をいただきました。子どもたちの感想を読んで、とてもすてきな特別授業だったことがわかります。子どもたちの心にしっかり残ったことでしょうか。また子どもたちは話を聞いて、考えたことがたくさんあると思います。自分の生き方にかかっているってほしいと思います。

村上様、ありがとうございました。



### 【子どもたちの感想から抜粋】

○ 私は村上さんのお話を聞いてわかった事、考えた事が3つあります。1つ目は手話です。手話は、耳の不自由は人のための言葉で、とても大切なものだと思います。でも少しやり方を間違えると、別の意味になってしまうので気を付けたいです。手だけでなく表情も大切だと知りました。2つ目は障害のある人の事です。障害のある人も仕事や趣味など自分のできる事、好きなことをやり通せるので、障害のある人をかわいそうだと思わないようにしたいです。また、もし障害のある人が助けを求めていたから知らないふりをせず、自分なりに大人をよんだりして助けてあげたいです。3つ目はバリアフリーの事です。村上さんは車いす用トイレや段差がないところが便利だと言っていたので、もっとたくさんバリアフリーを増やしていけたらいいと思いました。障害のある人もできることはたくさんあるので、まわりの環境を良くして、障害のある人も便利に暮らせる世の中にしていきたいです。

○ 私は手話ちゃん（村上さん）の話を聞いて思ったことがたくさんありました。その中で特に心に残ったことは、手話の仕方です。今回は「ありがとう」「お昼ご飯」などの簡単な手話を教えてもらいました。手話の出来方や分かりやすい意味を言ってくれたので、すぐに出来るようになりました。次は手話ちゃん（村上さん）についてです。手話ちゃんが仕事を辞めさせられてしまった時、お姉さんに電話をかけて仕事を辞めさせられたことを話したら「ちょっといいじゃない。」と言っていたことが衝撃的でした。さらにその後、手話ちゃんがアメリカに行って、障害のある人も仕事ができるんだ！と思った事で人生が変わるというエピソードもびっくりしました。最後に手話ちゃんが言っていた「障害のある人をかわいそうだなと思わないでください」ということを大切にしたいです。

○ (前略) 村上さんが難しいこととかを教えてもらいました。例えばお風呂に入る時やズボンを着替えたりすることとわかりました。びっくりしたことがあって、車いすマラソンというのがあるのが知りませんでした。そしてその車いすマラソンが、人が走るのに2時間くらいかかるのに、車いすに乗っている人は1時間くらいでいけるのがびっくりしました。手話ちゃんが乗っている車いすは、スエーデン製なのがありました。最後に村上さんの話を聞いて、次からは障害のある人をかわいそうだなと思わないようにしようと思いました。あと「同情するなら金をくれ」の意味がわかりませんでした。(←先生からのコメント：昔はやったテレビドラマのセリフです(笑))